

2月から3月にかけて、歌や音に関係する催しがたくさん開かれました。人々の心を感動させた催しをまとめて紹介します。

心に響く **旋律** メロディー



森の子合唱団 きらりこの町を披露

とっとり童謡音楽祭

歌

美しい歌声が響く。3月6日、米子市コンベンションセンターで開かれた「とっとり童謡音楽祭」に、町内の子どもたちで構成する「森の子合唱団」が出演しました。音楽祭は、県内外の合唱団や個人など12組が出演。ゲストには、町民歌で縁のある「ダ・カーポ」が登場しました。森の子合唱団は、後半に登場し、2部合唱で「春が来た」「うぐいす」と町民歌「きらりこの町」の3曲を披露。子どもたちのやさしい歌声が場内に響きました。同合唱団を指導する田口享さん（根雨）は「子どもたちには、大きな舞台で歌うことで喜びを感じてもらいたい。この経験をこれから生かしてほしい」と話していました。森の子合唱団は、町文化ホール「森の音楽隊」の名にちなんでつけられ、結成10年目を迎えました。メンバーは根雨小学校1年生から6年生の29人で、毎週月曜日の夕方から町文化センターで練習しています。町内外の音楽祭や町内の福祉施設で合唱するなどの活動をしています。

奏

美しいハーモニー 日野高校定期演奏会

日ごろの学習成果を発表しようと2月5日、第3回日野高校定期演奏会が、町文化センターで開かれました。

演奏会は、合唱部や弦楽合奏部などを選択している同校生徒や卒業生などが出演。美しく透き通った歌声、ピアノやチェロの独奏を披露しました。全体演奏では出演者全員が「ハレルヤ」を合唱。迫力ある演奏と歌声は来観者に感動を与えました。



演奏会のフィナーレは「ハレルヤ」を合唱



二胡



中国琵琶

弾

県青少年劇場小公演 Duo Concert

ジャン・ジェンファー ヤン・バオウエン
姜建華 楊宝元

デュオコンサート

～シルクロード悠久のひびき～

遙かなる中国の音色

本物の舞台を見て聞いて。
2月14日、古くから中国に伝わる二胡と中国琵琶の演奏会「姜建華・楊宝元デュオコンサート」(県青少年劇場小公演)が、町文化センターで開かれました。

一流の生演奏に耳をかたむけました。
二胡奏者の姜建華さん、中国琵琶奏者の楊宝元は、中国民俗音楽や「荒城の月」など日本の四季を演奏しました。2人が奏する音色は、時を越え中国の歴史や広大な大地を思わせ、来観者たちは目を閉じてゆっくりとした音色に酔いしれました。

姜建華(ジャン・ジェンファー)さん
中国・上海生まれ。独特な構造で繊細な音色が特徴の二胡(にこ)奏者。平成14年度のNHK日本ゴールドディスク大賞特別賞を受賞。

【二胡】

6角形の胴の片側に蛇皮が張られ、弦は2本。馬の尾の毛で作られた弓を2弦の間にはさみ、こすって音を出す。二胡の胡は「西域伝来」を意味し、シルクロードを通して伝えられた。

楊宝元(ヤン・バオウエン)さん

中国・北京生まれ。豪快で力強い弦の音色が特色の琵琶(びわ)奏者。テレビ、映画の演奏をはじめ、オーケストラなどと共演し、幅広く活動。

【中国琵琶】

指に人工の爪をつけ、閉じた指を外に開くように4本の弦をはじいて弾く。奈良時代に中国から日本にも伝来、当時のものが正倉院(奈良)に何台か残されている。

まちに癒しの音



水をかけ、竹筒を耳に当てると癒しの音が聞こえる

水琴窟

まちづくり日野が水琴窟を設置

「ピン」と水が瓶の中に落ちる音が心地よい。まちには、清らかに流れる日野川や板井原川、まち中を流れる井出川などがあり観光客にも好評。このせせらぎの音で心を癒してほしいと、まちづくり日野が「水琴窟」をまちに設置しました。

水琴窟は、瓶の中に落ちる音が反響し、琴のような音色に聞こえるようにしたもので、上から水をかけ、竹筒を耳に当てると涼しげな音が伝わってきます。

まちづくり日野が、この癒しの音でまちをPRし、少しでも商店街がにぎやかになればとの思いで2月17日、出雲街道沿いの根雨街内6か所(商店や自宅前)に水琴窟(瓶の高さ50センチ、胴回り110センチ)を置きました。

鳴

